

一般社団法人日本バルブ工業会(西岡利明会)

70周年記念式典挙行

バルブ工業会総会

中期計画達成へ決意



右から堀田前会長、中村元会長、橋本審議官

長は6月6日、東京・千代田区の大手町サンケイプラザで第12回通常総会と創立70周年記念式典を盛大に挙行了。総会



西岡会長

では予定していた全議案を原案とおりに承認。70周年記念式典では特別功労者表彰などを行い、中期活動計画の目標達成を目指す決意を改めて表明した。

当日は会員企業や来賓など約300名が出席。総会では2023年度決算を満場一致で承認する

とともに、2024年度事業計画・予算の報告も行った。今年度は3カ年中期活動計画の初年度に当たり、工業会の価値向上や会員の満足度向上に資する事業を展開する。適正取引や物流問題、労務費適正化など山積する課題に対しても解決を図っていく。

また80周年に向けた今後10年を「V80」と目標とし、3カ年計画はステージ1と位置付けながらサステナブル(持続可能性)に関する施策、次世代の人材育成、認知度・満足度向上に取り組む。記念式典では西岡会長があいさつし「当工業会

は1954年に発足し、賛助会員を含め187社まで仲間が増えた。多くの分野で活躍してきた証であり、紆余曲折を協力して乗り越えながら現在に至っている。過去に経

験のない大規模自然災害も起きたが、人々が安心して暮らせるよう尽力してきた。今年3月で終了した中期計画「V70」はおむね目標を達成でき、今後は10年後を見据えた「V80」を始動する。女性の活用や若手育成を加速して当工業会を盛り上げ、会員数200社を達成したい。今後も全員の力を結集しながら積極的に事業を推進し、さらなる発展を目指す」と力強く抱負を語った。

記念講演会、若手によるパネルディスカッションに続いて懇親会も開いた。西岡会長と星野昌志経産省製造産業局素材産業室長があいさつし、村井典副会長の音頭で乾杯。出席者は工業会70年の歴史を振り返り、さらなる発展に決意を新たにしていた。

村善典元会長(金子産業)

村善典元会長(金子産業)